

活動報告書

					記録者	五十嵐正行							
作業日時	2013年2月8日(金)				天候	晴れ、曇り、一時雪			気温				
場所	地区	恵那市	場所	笠岡地域									
活動種別	定例活動		自主活動		体験の森		特別活動	○					
参加者	鈴木、五十嵐							計2名					
作業内容	木の駅プロジェクト見学												
作業道具	トンガ	カケヤ	ツルハシ	チルホール	チェーンソー								
動力機器	チェーンソー												
操作者	刈払い機												
作業の具体的な様子・内容（写真添付可）													
<p>1. 「平成24年度奥多摩町木材利活用先進地視察」（主催：(株)森のエネルギー研究所）に参加し、林地残材の有効活用を行っている状況の実際を見学した。</p> <p>2. 参加者は以下11名。主催者側2名（野村、小出）、町6名（原島課長補佐、中尾係長、岡部係長、八木保安員、村木保安員、佐藤保安員）、町民（山林所有者）（牧野博行氏）、当会2名。</p> <p>3. 7:30奥多摩町役場出発、13:00～16:00現地見学、21:00過ぎ奥多摩町役場着。</p> <p>4. 「木の駅PJ」の実際について、現地実行委員会の鈴木氏から説明を受けた。 当PJの立ち上げはNPO主体、のち行政のサポート。 運営は「性善説」で、コストは掛けない。 現在、20軒強が出荷している。 ヒノキの小枝も別途集材している。（集成材製造工場から引き合いがある。） 買い上げ代金は「地域通貨券(モリ券)」で支払う。 スタートして3年、不都合は都度修正してきた。</p> <p>5. 「地域通貨券(モリ券)」の利用現場を見学。</p> <p>6. 計量所、土場を見学。 搬出出荷者が自身で軽トラを運転、計量、土場への材置き、まですべてひとりで行う。 立ち合い等は一切ない。</p> <p>7. 佐藤氏作業現場を見学。（佐藤氏は当PJの役員） 斜度はさほどでもないが林内作業車の移動に支障あるような岩が多い。 3.5tの重機（一般には4t以上）、林内作業車2台を使用。材木市場向けの材と同時に「木の駅PJ」向けのC材も集材している。</p> <p>8. 所感</p> <p>①実情に合わせ都度修正してきた、という経緯は参考になった。奥多摩町では同町に合った方法で行なえばよいのではないか。</p> <p>②行政、3セク、民間、等、のうちでいちばんやり易い方法で行なえばよいのでは。</p> <p>③決して実行が困難な事案ではない。（本項は鈴木会長の発言。）</p> <p>④百聞は一見にしかず、のとおりで大いに参考になった。</p> <p>⑤ボランティアとしては、行政、CSR企業、3セク、等による場所、資材、等の支援がないことには、いかんともしがたい事案である。</p>													
<table border="1"> <tr> <td>送付事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考ホームページ</td> <td>http://kinoeki.org/modules/nakanoho/ (写真がいろいろ載っています。)</td> </tr> </table>										送付事項		参考ホームページ	http://kinoeki.org/modules/nakanoho/ (写真がいろいろ載っています。)
送付事項													
参考ホームページ	http://kinoeki.org/modules/nakanoho/ (写真がいろいろ載っています。)												